



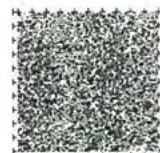
一人ひとりの「見えにくさ」と向き合い、
学び・自立・生活をサポートする

鳥取県立鳥取盲学校



学校案内

〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1265番地
TEL 0857-23-5441(代) FAX 0857-23-5442
E-mail torimo-s@mailk.torikyo.ed.jp/
公式 Web サイト <http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/torimo-s/>



鳥取盲学校

検索

▲目の不自由な方のための
音声コード

本校の概要



創始者：遠藤董先生

明治43年（1910）年に創立。鳥取県では唯一の視覚障がい特別支援学校です。小学生から大人までの様々な「見えにくさ」を感じる人たちが、通常の小・中・高等学校に準じた教育や自立に向けての技能習得に取り組んでいます。

夢につながる

個別の見え方に
配慮した学習支援
(拡大教科書・パソコン・点字など)

未来を切り拓くための
キャリア教育(進学・就労)

年間行事・活動を通し、
地域と交流

中途視覚障がいの方への
生活相談・自立支援
(視覚障がい支援センターとの連携)

寄宿舎完備

小・中・高(普通科/保健医療科)・
専攻科まで一貫教育で
心身の成長をサポート

自立に向けた国家資格
取得をサポート
(はり・きゅう・あん摩師/年齢不問)

乳幼児・学齢児への
教育相談

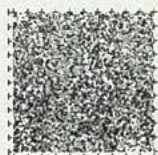
就学奨励費の支給
(教科書・給食費・寄宿舎居住費など)
※受給要件あり

経験豊富な
教職員チームによるサポート

おもな特色

充実した教育設備

(最新情報機器、全教室・体育館冷暖房完備)



小学部 中学部

楽しく学び 力をつける

一人ひとりの「見え方や特性」に応じて、教材教具を工夫したりICTを活用したりして、学力の定着に努めています。

また、安全な歩行や体力づくり、点字や触察での学習、自立活動などで将来必要なことを身に付けます。季節行事や校外行事など楽しい活動も充実しています。



将来の自立に向けて、体験を通して
ながらできることを増やす



視覚障がい者スポーツ
「ゴールボール」に挑戦



パソコンで文字の入力
と読み方を練習



空間の位置を習得したり、目と
手の協応を促したりする学習



身近にタブレット端末を
置き、学習に活用

高等部 普通科

自分の道 発見

少人数クラスで、拡大文字や点字、視覚障がい対応の情報機器などを用いて学習しています。進学や就労などの進路目標に向けて、様々な学習や行事、部活動など学校生活全体の中で自分の適性を知り、卒業後の生きる力を伸ばします。

【卒業後の資格】

●高等学校卒業資格



保育園で
職場体験中！



点字での英語の授業
英検2級合格！



作業所で実習中！



生活単元学習で
制作活動

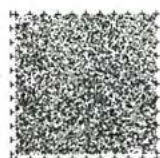
緒坂 菜緒さん
(高等部普通科 卒業生)

保育士になりたいという夢をかなえるため、短大に進学して資格を取得しました。盲学校在学中には、短大受験に向けて、きめ細やかな支援や指導をしていただきました。今は島根県の社会福祉法人で働いています。高校時代、自分の障がいのこともあり、進路についてとても迷いました。でも、夢をあきらめませんでした。大変なことも多いですが、子どもたちの笑顔を支えに頑張っています。

石田 将梧さん
(高等部普通科 卒業生)

在学中から作業所で働きたいと強く思っていました。産業現場等における実習でいろいろな作業所を体験した結果、希望の場所が見つかり、現在その作業所で働いています。初めての給料では、家族の好きなものをプレゼントして喜んでもらおうと考えています。今はまだ大変なことも多いですが、早く仕事に慣れるよう頑張っていきたいです。

夢の実現へ
～卒業生の声～



▲目の不自由な方のための
音声コード

健康増進を担う人材を育成する専門学科

～鍼灸マッサージ師をめざして～

高等部 保健理療科

あん摩マッサージ指圧師をめざして



普通教科と共に、あん摩マッサージ指圧師として必要な専門教科を学びます。少人数による学習、補習、豊富な実技実習により、確かな知識と技術を身につけます。

【卒業後の資格】

- 高等学校卒業資格
- あん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格



模型を使って
学びます

受験 資格



中学校または特別支援学校中学部を卒業した方。年齢不問。

専攻科 理療科

はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師をめざして



地域の企業や施設での
あん摩奉仕を行っています

受験 資格

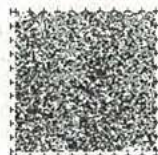
高等学校または
特別支援学校高等部
を卒業した方。
年齢不問。



1～2年次では、西洋医学や東洋医学の基礎理論、実技の基礎技術を学びます。卒業までに約250人の患者さんに治療を行う臨床実習などで実践的な技術を身につけます。

【卒業後の資格】

- あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師
国家試験受験資格
- 筑波大学理療科教員養成課程（2年）受験資格



Q

あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの仕事をするのには免許が必要？

A

日本では法律により、あん摩マッサージ、はり、きゅうを「ぎょう」とできる者は医師とあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の免許所有者だけです。

Q

国家試験に合格し免許を取得すると、どんな仕事ができますか？

A

自分で治療院を開業できるほか、治療院、病院、特別養護老人ホームなどの高齢者介護施設へ就職が可能です。また、専攻科課程を卒業後、筑波大学理療科教員養成施設（2年課程）を経て、盲学校で理療指導をする教員免許の取得が可能です。

Q

あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの勉強はむずかしいですか？

A

医学的知識など多くの専門知識が必要なのでやさしくはありませんが、3年間でしっかり勉強します。資格取得は将来の自立の助けになりますし、患者さんの健康を支えるやりがいのある仕事です。本校卒業生も多数が免許取得し、さまざまな職場で活躍中です。

Q

学費はどれくらいかかりますか？

A

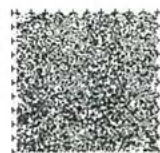
入学金、授業料は無料です。学用品購入費、給食費、通学・寄宿舎生活などにかかる諸経費は必要ですが、ご家庭の経済状況に応じて就学奨励費が支給され、経済的負担を減らします。

Q

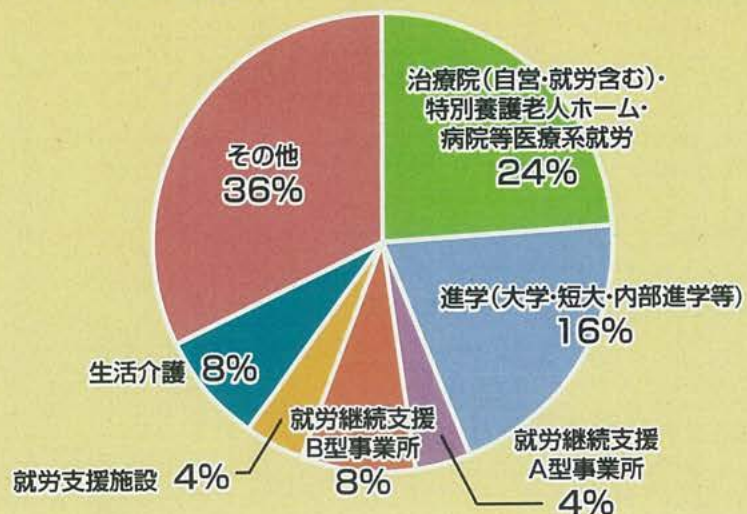
教科書の文字が小さくて読みづらいです。どうしたらいいですか？

A

文字の大きな拡大教科書や音声によるデージー教科書もあります。また、拡大読書器や音声で操作できるパソコン、タブレットを活用することで、学習効果を向上させることもできます。盲学校では、様々な見え方に応じた学習方法を提案できます。



高等部・専攻科の卒業生進路先（平成22年～令和元年度）



医療系就労	24%
進学 (大学・短大・内部進学等)	16%
就労継続支援A型	4%
就労継続支援B型	8%
就労支援施設	4%
生活介護	8%
その他	36%

寄宿舎 子どもから大人までが共同生活



舎室で学習中

おもな設備

舎室
 食堂
 男女浴室
 娯楽室
 図書室兼情報学習室
 冷暖房完備



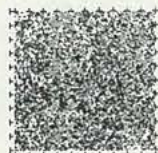
みんなで楽しく食事をします



寄宿舎のそうじは自分たちで行います

本校敷地内の寄宿舎では、盲学校と聾学校の小学部児童から専攻科に通う大人までの、通学困難な方たちを受け入れています。寄宿舎指導員が24時間体制で見守る中、安心安全な住空間で共同生活を送っています。

寄宿舎での一日の流れ 金曜午後～日曜夕方まで閉舎となり自宅へ帰ります



おもな行事

学校行事

寄宿舎行事



入学式 ●

部科別遠足 ●

修学旅行（高普・高保） ●

研修旅行（専） ●

治療院見学（高保・専） ●

春

オープンスクール ●
中四国盲学校体育大会 ●



夏

七夕祭り ●
レクリエーション ●



体育祭（隔年） ●

文化祭（隔年） ●

修学旅行（小・中） ●

職場体験（中・高普・高保・専） ●

あん摩奉仕（高保・専） ●

秋

お月見会 ●

部屋替え ●



クリスマス会（小・中） ●

遠藤祭 ●

餅つき（小・中） ●

卒業式 ●

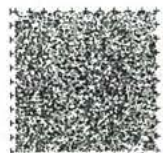
冬

後期総会 ●

節分 ●

卒業を祝う会 ●

部屋替え ●



季節の行事や地域との交流など、さまざまな体験をしています。

▲目の不自由な方のための
音声コード

入学資格

両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の方または視力以外の視機能障がいが高く、拡大鏡などの使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の方。

小学部	6年	就学指導委員会による本校への就学通知を受けた方
中学部	3年	
高等部普通科	3年	中学校または特別支援学校中学部を卒業した方
高等部保健医療科	3年	中学校または特別支援学校中学部を卒業した方 (高等学校卒業した方も入学できます)
専攻科医療科	3年	高等学校または特別支援学校高等部を卒業した方

高等部・専攻科は年齢による制限はありません。

視覚障がいや見え方に関する相談支援

こんな方はご相談を

- 子どもの見え方について相談したい方
- 教科書や黒板の字が読みにくい児童生徒
- 病気や事故による中途視覚障がいの方

おもな相談支援内容

教材教具、学習方法

歩行や日常生活

点字や文字の拡大

就学相談

見学体験

便利グッズの紹介

※ご本人だけでなく、ご家族や保育園、教育機関などからも幅広く相談を受けています。

※相談に費用はかかりません。

※相談内容の秘密は堅守します。

※視覚障がい理解啓発に関する研修会・学習への講師派遣のほか、学校見学など様々な相談に対応しています。

お気軽にご相談ください。

電話／**0857-23-5441**(代)

NEW

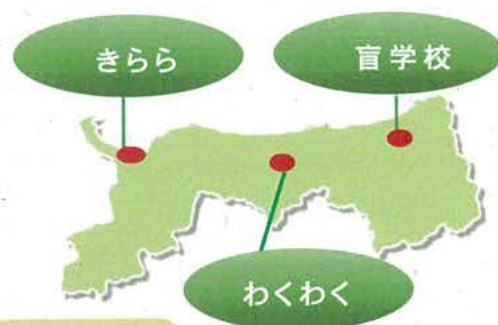
乳幼児の相談支援
(乳幼児親子教室)

東部地区
乳幼児親子教室
つくしんぼ

中部地区
乳幼児親子教室
わくわく

西部地区
乳幼児親子教室
きらら

NEW



西部地区にお住まいの方はこちらへ

西部地区視覚障がい教育支援センターきらら

電話／0859-34-5910

◎期日／火曜日

(※盲学校職員が出向きます)

◎場所／鳥取県立皆生養護学校 地域支援室内
鳥取県米子市上福原7丁目13-4

中部地区にお住まいの方はこちらへ

鳥取盲・聾学校附属教育支援センターわくわく

電話／0858-23-9179

◎期日／金曜日

(※盲学校職員が出向きます)

◎場所／旧中部療育園内
鳥取県倉吉市南昭和町15

